



ID: 1331

科目名	建築史【26年度生用】			コード			
英語表記	History of Architecture						
担当教員名	田島 文隆			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
我々の先人たちが、それぞれの時代において、より良い生活を営むために行ってきた様々な試行錯誤の跡を確認する作業であり、何に失敗し、それをどのように克服してきたかを検証することによって冷静な判断力を養う基本的な作業であるとする。							
到達目標							
1) 建築の歴史的な流れを大きくとらえ、近未来を展望する。 2) 単なる様式にとらわれな いよう、政治、経済、社会、文化的分野と関連して考える。 3) 重要な遺構が歴史の中で、どのような位置を占めて いるかを理解する。							
授業計画							
第1回	建築史の学び方、原始の建築						
第2回	日本建築史 古代(宮殿と都市)						
第3回	中世(様式の発生と融合)						
第4回	近代(茶室と数寄屋)						
第5回	西洋建築史 古代(ヨーロッパ建築の曙)						
第6回	中世(教会建築の誕生、ロマネスク)						
第7回	(ゴシック、ルネッサンス)						
第8回	近世(古典主義、バロック、ロココ、)						
第9回	(古典主義の成熟、市民革命、)						
第10回	ヨーロッパの拡大						
第11回	産業革命、日本の近代化(ライト、バウハウス、ミース、コルビュジェ、ガウディ)						
第12回	近代都市の変貌、コンドルの来日と日本建築家の育成(辰野金吾、伊東忠太)						
第13回	都市建築の展開、モダニズム(レーモンド、村野藤吾、前川国男、丹下健三)						
第14回	日本的な表現、現代の都市と建築						
第15回	戦後モダニズムの展開、総括。						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
各講義の要点を理解してほしい。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				50%	50%		
授業外学習			テキスト、教材				
各時代様式の建築的特徴やその社会的背景を学習する事。			カラー版「建築と都市の歴史」 著者 光井渉、太記 祐一 発行 kk井上書院 ¥2,500+税				
参考書			受講生へのメッセージ				
「日本建築史図集」「西洋建築史図集」 日本建築学会 編 彰国社発行			建築史の全体の大きな流れ、を把握する事に努める。 時代様式の建築的特徴を理解する。				
キーワード							